

令和4年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 千代 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学、理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

教科に関する調査(国語、数学、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

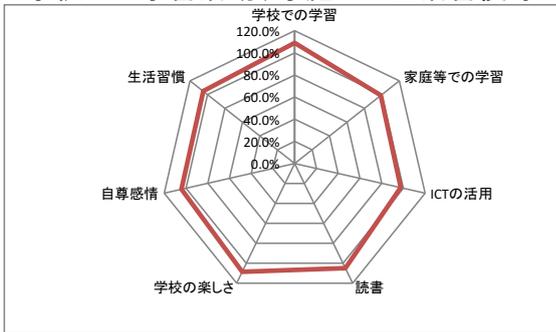
(1) 全国・本市の学力調査(国語、数学、理科)の結果

本年度の結果	国語		数学		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	6.6	47	9.8	47
全国	9.7	69	7.2	51	10.4	49

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全体的に全国平均と同程度である。多くの生徒が、言葉の特徴や使い方についての知識や技能を正しく理解できているが、情報の扱い方について課題がある。	全国平均正答率との比較 同程度である
	よってきた問題	聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する問題。文脈に即して漢字を正しく書く問題。	
	努力が必要な問題	論理的な展開などについて注意して聞く問題。	
数学	全体的な傾向や特徴など	全体的に下回っている。データを読み取り、活用することについては比較的正確に判断できる傾向にあるが、数と式を用いて問題を解くことに課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題。	
	努力が必要な問題	連立二元一次方程式。一次関数の変化の割合の意味。証明の根拠として用いられる三角形の合同条件の理解。	
理科	全体的な傾向や特徴など	「生命」や「地球」を柱とする領域は、ほぼ全国平均並みだが、それ以外の領域に課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を空気の柱の長さで説明する際、適切な長さの変化を選択する問題。	
	努力が必要な問題	実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみる問題。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・学校での授業において、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒が多い。また、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行うことができている。 ・友達と協力することに価値や意味を見出し、学校に行くのが楽しいと多くの生徒が感じている。 ・毎日同じぐらいの時間に起床、就寝ができている生徒の割合が高く、基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多い。 ・自分で計画を立てて勉強をしている生徒が多いが、1日当たりの学習時間は全体的に短めである。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 国語については、新聞などの活字に親しむことができるように工夫し、論理的な思考力・判断力・表現力を高めていく。
- 数学については、「大切である」、「将来役立つ」と感じている生徒が多いが、数と式を用いて問題を解くことに課題がある。基礎的・基本的な事項を身に付けることができるように数や式に慣れる必要がある。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 基本的な生活習慣が身に付いているものの、携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方等について課題がある。配布物等を活用しながら、ネットモラル等の学習が日常的にできるように啓発活動を行う。
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりの家庭学習の時間を確保できるようになるとよい。